

ひかり

2023年6月号



Matthew

日本聖公会 三光教会

第714号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとな来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの輓(くびき)を負い、わたしに学びなさい。そうすればあなたがたは安らぎを得られる。

(マタイによる福音書：11:28～29)

使徒聖バルナバ

司祭 アモス金 キム 大原 デウオン

信徒言行録には、キリスト教会が始まった頃の様子がとても詳しく記されています。使徒たちの教えには権威があり、信徒たちは心も思いも一つにし、自分の持ち物に固執せず、すべてを共有し、いつも感謝に満ちていて、人々から非常に好意を持たれていました。このようにしてイエス・キリストの福音はローマ帝国の各地に伝えられたのです。これにもっとも大きく貢献した人は、意外に、

11名の弟子たちより使徒パウロと使徒バルナバという二人の人物だったと言えます。特に、去る6月12日は使徒聖バルナバの記念日だったので、バルナバについて考えてみたいと思いました。

キプロス生まれでレビ人であったバルナバの本名はヨセフでしたが、使徒たちから「慰めの子」という意味の「バルナバ」と呼ばれていました。バルナバは穏やかで心が暖かく、寛大な人でした。ダマスカスで改心したパウロが、使徒たちに会うためにエルサレム

に行っても、誰も彼に会ってくれなかった時、このバルナバの取り持ちでパウロと使徒たちが会うようになったのです。キリスト教会にとつてとても歴史的な場面がバルナバによって作られたわけですから。

使徒言行録に、「バルナバは立派な人物で聖霊と信仰とに満ちていたから、多くの人が主へと導かれた」(11・26)と紹介されています。聖書協会共同訳には「立派な人」となっていますが、「いい人、優しい人」とも翻訳することができません。面白いのは、キリスト教の経典なのに、「聖霊と信仰に満ちた人」という表現より「立派な人、いい人、優しい人」という表現が前の方に配置されているということです。人の良さや優しさは、基本的に他者との関係の中であらわれるものではないでしょうか。

いつも他人を配慮すること、これがいい人・優しい人の基本的な態度ではないでしょうか。バルナバはまさにそのような人だったので、それに「聖霊と信仰とに満ちていた」の言うまでもないでしょう。だから多くの人々が彼によってイエス・キリストへと導かれ

たのです。言葉から見ても、行動から見ても、バルナバという人、そのものがイエス・キリストの福音の生きている証だったでしょう。それだけではありません。弟子たちに会ってからも、何をどうすれば良いかが分からなくて故郷に帰って引きこもっているパウロを説得してアンテイオキアに連れて行き、一年間もどまって人々を教え、福音を宣べ伝えました。パウロはそこで心機一転してローマ帝国の所々に教会を立てた偉大な伝道師になり、新約聖書の半分くらいの記録を残すことになりました。キリスト教会の発展に大きく貢献したパウロ、でも迫害者と知られていた彼を新しい舞台に引っぱり出したのはバルナバだったので、そして、アンテイオキアはイエスを信じる人々がキリスト者と呼ばれ始めた場所であって、まさに、バルナバの働きのために「クリスチャン」という称号が付けられたわけですね。

ミケランジェロは自分の彫刻作品の製作過程について、「大理石の中に隠れている形を開放させるために不要な部分をはぎ取る作業」と言いました。このような観点か

ら見ると、バルナバは物ではなく人間であるパウロの中に潜んでいる偉大な宣教師の姿を見出し、それを引つ張り出してくれたわけです。バルナバはこのような人物でした。それで、使徒たちに認められ、パウロと共に使徒と任命されました。

使徒聖バルナバのように、他人の中から可能性を見出し、他人を新しくする力が、わたしたちに与えられますように。

6月～8月の予定

18日(日)	聖霊降臨後第1主日
22日(木)	殉教者オルバン
24日(土)	洗礼者聖ヨハネ誕生日
26日(日)	聖霊降臨後第4主日
28日(木)	殉教者主教イレナエウス
29日(木)	使徒聖ペテロ・使徒聖パウロ日
◆7月	
2日(日)	聖霊降臨後第5主日
3日(月)	7月逝去者記念礼拝
9日(日)	聖霊降臨後第6主日
11日(火)	修院長ベネディクト
16日(日)	聖霊降臨後第7主日
22日(土)	マグダラの聖マリヤ日
23日(日)	聖霊降臨後第8主日
25日(火)	使徒聖ヤコブ日
26日(木)	おとめ聖マリヤの母アンナ
30日(日)	聖霊降臨後第9主日
◆8月	
6日(日)	主イエス変容の日
7日(日)	8月逝去者記念礼拝
8日(火)	司祭修道士ドミニコ
10日(木)	殉教者執事ローレンス
11日(金)	修院長おとめクララ
13日(日)	聖霊降臨後第11主日
15日(火)	主の母聖マリア
18日(金)	ヘレナ
20日(日)	聖霊降臨後第12主日

「旗の台ひかりっ子食堂」

2020年10月に成 司祭の呼びかけでコロナ禍でも教会が地域の方々へ出来る働きを考える第1回三光教会子ども食堂プロジェクトを開催。大森聖アグネス教会の「南馬込アグネス子ども食堂」担当者からお話を伺いました。コロナ禍のため、作業ボランティアは公共交通機関を使用しない者、会館での食事ではなくお弁当形式で提供、荻原執事の指導の下試食会を経て、11月7日(土)第1回「旗の台ひかりっ子食堂」のお弁当を予約・当日売りで90食用意。メニューは 豚混ぜごはん・肉じやが。品川社会福祉協議会品川子ども食堂ネットワークとの連絡予約受付を荻原執事に担当していただいています。

信徒の方々がチ等チラシ作成・掲示・お弁当箱確保等を分担。毎月第3土曜日、大人 200円、子ども100円で販売。12時・13時・13時半でスタートしました。7、8月は食中毒対策でお休み。夏メニュー(6・9・10月)は「キーマカレー」にしました。

12時には子ども連れの家族や高齢者の方々が当日売りを買いにみえ、早い時間に完売の時もあります。衛生面・コロナ感染防止に毎回神経を使いながら、調理班・受付班約15名で担当。2023年5月20日(土)に27回目を終了いたしました。

3年間の活動中、品川区からの毎回の土産、信徒の方、ご近所の方からのご寄附(お米・野菜)・東京教区、香蘭女学校からのご寄付、品川区からの商品券等沢山の方のご支援を頂き、感謝いたしております。

必要とされている方々のために現在120食を用意しています。地域の方とお話をする機会も頂きながら、今後も感染防止に細心の注意を払って継続して参ります。

(記・高田智子)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■ 主日礼拝

午前 7:30 聖餐式

午前 10:30 ステパノ会
(日曜学校)礼拝

午前 10:30 聖餐式

午後 4:00 夕の礼拝

■ 平日礼拝

毎朝 6:30 から

月、水、金は朝の礼拝、

火、木、土は聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2023年6月号(第714号)

発行者：司祭 金 大原 編集・印刷：三光教会広報委員会